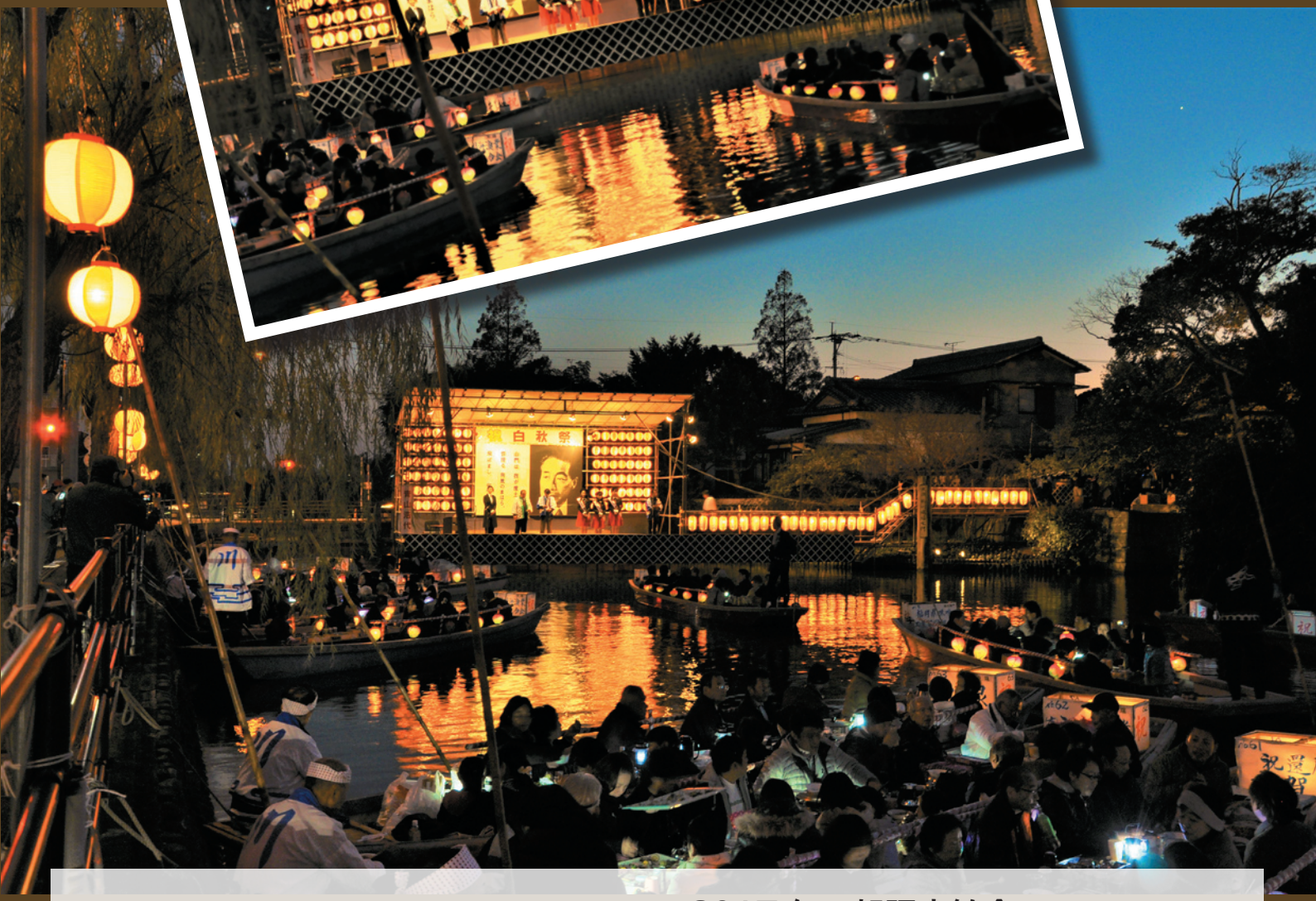
メタリストを応援するネットワーク情報誌

シートメタル九州

Sheet Metal KYUSHU

2017春号
第47号



CONTENTS

特　集
九州の長寿企業について …… 2
企業探訪
第46回
立売堀製作所 九州工場配送センター… 4
工業会からのお知らせ
第16回　親睦ゴルフコンペ …… 5
パワーアップ研修会 …… 6
2017年　賀詞交歓会…… 10
モノづくりフェア2016 …… 11
マイブーム
読む将棋 …… 12
トピックス
BCP(Business Continuity Plan)
事業継続計画…… 13
「ロゴマークのアイデア」公募のご案内… 14
編集後記 …… 15

特 集

九州の長寿企業について

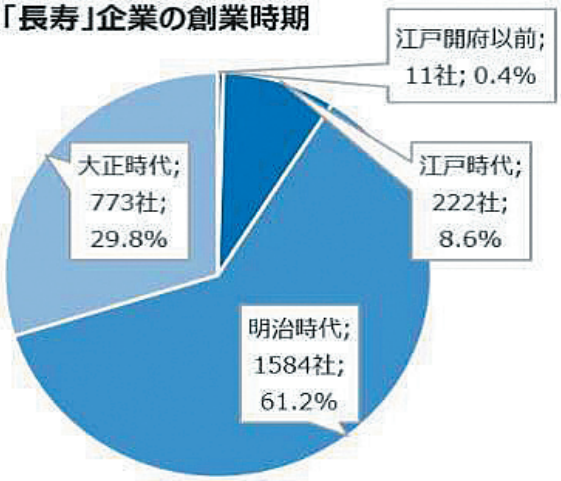
世界一の長寿企業が日本にあることはご存じでしょうか？その企業とは大阪府にある「金剛組」という寺社建築工事業を営む企業で、創業は西暦578年。日本の歴史時代の区分で言うと、なんと飛鳥時代から1438年も続く現存する世界最古の企業だと言われています。

また、業歴が100年以上の企業はわかっているだけでも26.000社以上もあり、日本は世界に類をみない長寿企業大国であることに間違いありません。

そんな中、今年の1月に帝国データバンクが発表した九州・沖縄の長寿企業実態調査によれば、2017年に業歴100年以上となる『長寿企業』が、2010年9月の調査開始以降の最多だった前年2545社から、さらに増加し、過去最多の2590社に上がることがわかった。

創業時期別にみると、明治時代（1868～1911年）が1584社（構成比61.2%）で最も多く、大正時代（1912年～）は、100周年を迎える企業が新たに73社加わり、773社（構成比29.8%）で続く。

■「長寿」企業の創業時期



江戸時代以前（～1867年）に創業したのは計233社（構成比9.0%）だったことがわかった。

業種別にみると、「製造業」が687社（構成比26.5%）で最も多く、次に「小売業」が655社（構成比25.3%）が続き、2業種合わせて過半を占めている。「卸売業」も543社（構成比21.0%）で2割を超えている。小売業は、

「長寿」企業の職種別構成

業　種	江戸開府以前		江戸時代		明治時代		大正時代		合　計	
	社　数	構成比	社　数	構成比	社　数	構成比	社　数	構成比	社　数	構成比
建　設	1	9.1%	7	3.3%	112	7.1%	95	12.3%	215	8.3%
不動産	1	9.1%	7	3.2%	61	3.9%	22	2.8%	91	3.5%
製　造	7	63.6%	110	49.5%	398	25.1%	172	22.3%	687	26.5%
卸　売	1	9.1%	34	15.3%	339	21.4%	169	21.9%	543	21.0%
小　売	1	9.1%	46	20.7%	412	26.0%	196	25.4%	655	25.3%
運　輸	0	0.0%	0	0.0%	28	1.8%	21	2.7%	49	1.9%
サービス	0	0.0%	17	7.7%	200	12.6%	84	10.9%	301	11.6%
その他	0	0.0%	1	0.5%	34	2.1%	14	1.8%	49	1.9%
合　計	11	100.0%	222	100.0%	1584	100.0%	773	100.0%	2.590	100.0%

明治時代で412社、大正時代で196社といずれも創業時期別のトップ。取扱い品目をみると呉服や衣服品ほか、酒類、医薬品、菓子などが中心。燃料販売店がガソリンスタンド経営へ、また、酒類や米穀類の販売店がコンビニ経営と業態転換したケースも見られた。

製造業は、江戸時代以前に創業した企業が5割に達し、焼酎や清酒、しょう油や味噌などの調味料、絞り製品を含む水産加工品、菓子、陶磁器などが目立ち印刷業も多かった。

地域別では、「福岡県」が747社で最も多く、続いて「熊本県」408社、「長崎県」352社、そして「佐賀県」341社、「大分県」325社と続く。佐賀県では、陶磁器関連メーカーや清酒メーカーが目立った。鹿児島は、4割強か焼酎メーカー。長崎県は造船会社などが多く見られた。

県	江戸開府以前		江戸時代		明治時代		大正時代		合　計	
	社　数	構成比	社　数	構成比	社　数	構成比	社　数	構成比	社　数	構成比
福岡県	3	27.3%	61	27.5%	467	29.5%	216	27.9%	747	28.8%
佐賀県	2	18.2%	37	16.7%	208	13.1%	94	12.2%	341	13.2%
長崎県	1	9.1%	40	18.0%	218	13.8%	93	12.0%	352	13.6%
熊本県	1	9.1%	26	11.7%	268	16.9%	113	14.6%	408	15.8%
大分県	3	27.3%	40	18.0%	186	11.7%	96	12.4%	325	12.5%
宮崎県	0	0.0%	5	2.3%	103	6.5%	80	10.3%	188	7.3%
鹿児島県	1	9.1%	10	4.5%	124	7.8%	77	10.0%	212	8.2%
沖縄県	0	0.0%	3	1.4%	10	0.6%	4	0.5%	17	0.7%
合　計	11	100.0%	222	100.0%	1584	100.0%	773	100.0%	2.590	100.0%

（情報提供：㈱帝国データバンクより）

詳しくは、2017年の「周年企業」と「長寿企業」の実態調査（九州・沖縄地区）参照

冒頭にも述べましたが、日本は長寿企業大国で数多くの長寿企業が現存し、この不安定な経済環境を生き残っています。

近年、IT参入やグローバル化のスピードが速まり、経営者は常に「この先どう生き抜くか」、「どのようにして会社を永続させるか」など、自問自答を繰り返す中、明確な方向性が必要な時代とも言えます。長年の歴史がある「長寿企業」は、そんな荒波を乗り越え、「経営革新」、「社員との信頼関係」、「継続後継者の育成」を築き上げ、企業の成長と存続のために変化し、時代と共に生き抜いてきているのだと思います。

九州にもたくさん100年以上の長寿企業があり、弊社も今年1月で47年目を向えますが、長寿企業の経営から生き抜くヒントを見出し、永続企業をめざし、長寿企業の仲間入りを果たしたいと思います。

〈中村 充徳　有限会社中村製作所〉

企業探訪

第46回

立売堀製作所　九州工場配送センター

九州シートメタル工業会の会員各社を順番に訪問し紹介させていただくシリーズ、第46回目は、福岡県古賀市小竹の株式会社立売堀（いたちぼり）製作所九州工場の梅本工場長にお話を伺いました。

ご創業のキッカケは大阪本社が九州方面に販売するのに九州に板金工場があった方が便利だということで平成元年に設立され、現在28年目を迎えておられます。

主力商品は消火栓格納箱の設計及び製造です。15年前から営業開発部の仕事として、ガソリンスタンド関係、太陽光集電BOX関係などを手掛けており、現在はその仕事が3割ほどを占めているそうです。

リーマンショックのころは工場の転売まで考えるほどの落ち込みだったそうですが、なんとか持ちこたえた後は、5年ほどかけて工作機械を導入して、1年前から工場の屋根と壁をリフォームして新しくなっています。

工業会に入会の経緯はアマダの営業マンに会報誌シートメタル九州をいただいたのがきっかけで、その号に載っていたセミナーや検定の記事をみて、他社と一緒に教育を受ける場・交流をする場の必要性を感じてすぐに申し込まれたそうです。

工業会の規約にメーカーは入れないとあるので、検討期間があったようですが、こちらの九州工場は他社の仕事もする板金工場なので他の会員と条件は変わらないということで、会員になられてからは積極的にセミナーや図面検定などを受講されています。

大阪工場、埼玉工場もそれぞれの地域の工業会の会員になられています。

技能検定も受けたい気持ちがあるのですが、検定日がちょうど繁忙期にあたるのが悩みの種だそうです。

にこやかにお話する梅本工場長

今後は自動消火の時代になる。消火栓格納箱は減少傾向にある。という考えのもと、営業開発部門の仕事を増やしていきたいと語っておられました。

〈植木 剛彦　㈱ナダヨシ〉

会社概要

名　称：株式会社立売堀製作所 九州工場
住　所：福岡県古賀市小竹 5-1
ＴＥＬ：092-944-2251

第16回　親睦ゴルフコンペ開催される！

本来は熊本において5月に開催する予定でしたが、熊本震災の影響で延期になり、改めて10月28日（金）に、熊本の玉名ＣＣにて、7社8名の参加により第16回　親睦ゴルフコンペが開催されました。

今回の開催は、会員企業のお仕事の都合等により、残念ながら今までに於いて一番少ない参加者となりました。

前日の天気予報では大雨の予想でしたが、参加者の誰からも「コンペを中止しよう」との連絡もなく、予定通りの開催となりました。

当日は、予想通り土砂降りの雨の中でしたが、ゴルフ好きの会員の方ばっかりで、最後まで諦めず辛抱強くプレーをされ、会員同士のゴルフ談義も弾み、楽しくプレーする事が出来ました。

今回のゴルフ場は距離も長く更に天候も大雨であった為、ドライバーで距離を稼ぐ事も出来ず、参加者の方は大変スコアーメイクに苦労され、高スコアーは出ませんでした。

表彰式では、成績はダブルペリア方式にて集計され、優勝は初参加である長崎の出口工業㈱出口社長（ネット75.6：ＯＵＴ49・ＩＮ47)、準優勝は、事務局の佐伯氏（ネット75.8：ＯＵＴ47・ＩＮ43)、その他各受賞者の表彰が行われ和やか雰囲気の中、大雨でプレーした思い出に残るコンペでした。

今回の参加者はゴルフ好きの方が多かったので、プレー終了後、熊本市内にて宿泊し、翌日は晴天の中、引き続いて熊本の高遊原GCでゴルフプレーを満喫しました。

来年もゴルフ好きの会員を集めて引き続き開催したいと思いますので、是非ご参加お願い致します。

〈佐伯 雅晴　事務局〉

パワーアップ研修会

【研修対象者】工業会会員企業の作業現場のリーダー、管理・監督者、中堅社員の方
【研 修 内 容】5 日間
・講習 2 日間
　リーダーの役割及び部下の指導・リーダーシップを活かして職場改善ノウハウ習得
・課題についてのフォロー教育 2 日間
　自分が関連している職場での繰り返し作業のムダの解決方法について各種事例を通じてフォロー研修
・テーマについて成果発表（1 日間）
【研修参加者】13 社 22 名

1 回目　開催日：平成 28 年 11 月 18 日　　会場：春日クローバープラザ

発表順	社　　名	氏　　名	テーマ
①	㈱三松	河野　通大	金型の効率的運用
②	八祥産業㈱	古木　信一	製品移動の効率化
③	親和工業㈱	松井　大介	ムダな移動・動作の改善
④	リョーユウ工業㈱	小山　　毅	Ｒゲージ置き場作成による時間短縮
⑤	日新電工㈱	永松　圭作	部品運搬における無駄な動きの改善
⑥	㈱岸川製作所	末吉　章子	間接作業の改善〈みんなで行う改善活動〉
⑦	㈱伸栄金属製作所	竹浦　康典	金型段取り時間の短縮
⑧	㈱ナダヨシ	吉田　雄一	ベンダーにおける金型交換の改善
⑨	㈱鐘川製作所	山下　敬祐	道具・機械を変える
⑩	八祥産業㈱	香月　泰臣	シール打ち作業時間の改善

2 回目　開催日：平成 28 年 11 月 22 日　　会場：㈱アマダ　九州支店

発表順	社　　名	氏　　名	テーマ
①	㈱三松	柳　　勇輝	板厚測定作業の改善
②	ナサ工業㈱	吉村　　孝	効率的な会議のあり方(会社を『Facilitate』する)
③	㈱岸川製作所	川上　靖志	作業時における３ムの改善
④	㈱ヤスナガ	古賀　　徹	材料の配置・表示方法の改善
⑤	八祥産業㈱	中村　友春	８１１系電車主回路更新工事効率化
⑥	㈱福岡建興	古賀　雅己	積込み時間の改善
⑦	㈱鐘川製作所	井手口信吾	Ｒ曲げ作業と金型運搬作業改善
⑧	博多シヤリング工業㈱	高野　正道	ＣＡＭデータＵＳＢ移動の改善
⑨	リョーユウ工業㈱	堤　　昭憲	半製品を探す時間を短縮！！
⑩	㈱岸川製作所	石本　智博	作業改善と予防処置
⑪	親和工業㈱	釜堀乃武郎	自工程の改善
⑫	ナサ工業㈱	小川　晃生	納入時の運搬時間削減

参加者のコメント

株式会社ナダヨシ　吉田 雄一　１回目最優秀賞

テーマ
ベンダーにおける金型交換の改善

内容のポイント
　今回の改善において苦労した点は、基本の「ムダを探す作業」だった。日頃当然と思いやっている行動を見直すことは難しかった。着目した点は、能力 up やレイアウト変更は時間や経験、費用がかかるので、まずは誰が行っても一定の成果が得られることから始めることにした。作業改善には、視点を変えて物事を見るということが大切であるとわかった。内容外ではあるが、この研修を機に苦手だったパソコンを勉強し始めた。

社内成果
　今回最も成果が得られたと思うことは「協力してくれた作業者の意識変化」である。
能力不足もムダと学んだが、その up は短期間では無理と思った。改善作業中に使用した表で思わぬ効果が出た。記入内容は時間・製品名・員数である。作業者は記入することで、時間がかかっていることを知り、どうすれば早くなるか等を考え、様々な質問をするようになった。メモも取るようになった。他にも色々ある。小さなキッカケで意識変化という大きな成果が得られたことを嬉しく思う。
　成果発表会の結果は、意識変化してくれた作業者がいてくれたからこそのものです。ありがとうございました。
最後に
　鈴木講師はじめ、受講生、特にＣ班の皆さん、休憩中も悩みについて話せたり、アドバイス等を頂けたことに感謝いたします。

株式会社三松　柳 勇輝　２回目最優秀賞

テーマ
板厚測定作業の改善

内容のポイント
【改善点（着目した点）】
　板厚を測定するため、ノギスを「探す」「使う」「片付ける」作業に時間を要していました。
　小型で身に付けられるゲージを使用し、「探す」「片付ける」時間を削減することをゴールとしました。
【実施時の苦労】
・三松仕様に合わせる（常備材の板厚に合うもの、ビニールの有無：片面、両面でのクリアランス）
・板厚測定ゲージの形状（耐久性があり、１回で測定できるもの）

社内成果等
【成果】
　全体で１日あたり 80 分かかっていた作業を、80％削減し、16 分に短縮できました。
【上手くできた点、今後に向けて】
　普段から現場とのコミュニケーションを大事に取り組んでいましたので、今回の取り組みでも現場の意見もしっかり抽出しながら反映させるという点において、まったく問題なく行えました。
　今後も、コミュニケーションを大事に、現場と一体となって、無駄を省いてより良い職場となるよう努めます。

株式会社三松　河野 通大　１回目優秀賞

テーマ

金型の効率的運用

内容のポイント

【改善点（着目した点）】

　金型クリアランスの交換時間短縮にターゲットをしぼり、使用頻度の多い金型の抽出を行い、その金型の薄板用、厚板用の両クリアランスを固定金型としました。

　またタレット内のエリア分け(固定エリア､交換エリア)を行い作業時間の短縮を行いました。

【実施時の苦労】

　これまで使用したネステイングを基に金型の抽出やエリア分けの際はタレット内の限られたステーションを効率的に使用できるように配置の選定を行ったところなど。

社内成果等

【成果】

　１ヶ月 949 回の金型交換回数が１ヶ月 72 回まで削減でき 90％減の効果を得ることができました。

【上手くできた点、今後に向けて】

　取り組み中は金型の改善というところで、大きく作業時間を割くことなく、日々の業務の中で試行錯誤や新たな気付きの発見など行うことができました。

　また金型交換は毎日行っている作業なので改善することができ良かったです。

　今後も日々当たり前に行っている作業の中のムダ取りが出来るように努めます。

リョーユウ工業株式会社　堤 昭憲　２回目優秀賞

テーマ

半製品を探す時間を短縮

内容のポイント

　今回私が改善をするに当たり、どうすれば今遣りも早く仕事をさばく事が出来るか、また、１日の作業の中で一番時間を使っている所はどこかを考えた結果、半製品を探す時間を短縮出来れば、大きな効果が期待出来ると思い、取組みました。

社内成果

　今回の改善を行った事により、半製品を探す時間が約半分に解消されました。私の思い描いていた物とは多少違いますが、取組んで良かったと思います。ただ、実際に扱ってみると、まだ改善しないといけない部分が出てきています。社内全員が　これはいいね　と言って頂けるシステムへと作り上げて行こうと思います。

有限会社岸川製作所　末吉 章子　1回目敢闘賞

テーマ

間接作業の改善（みんなで行う改善活動）

内容のポイント

特定の作業者だけではなく、熟練者や未熟練者、新人作業者も一緒に活動ができる改善項目に着眼して実施しました。毎日当たり前に行っている作業の中で、今のやり方が一番だと思いすぎてどの作業がムダなのかと改善テーマを見つけることに時間がかかりました。また、作業観測・分析をする際、作業者が何を考えて作業を行っているのか思考を読み取ることに苦労しました。

社内成果

今回の改善活動により年間約195,000円の削減ができる結果となりました。発表したのは1つの改善テーマだけでしたが、8個上げていた他の改善テーマについても実施しています。また、それ以外の改善テーマも係員より出ているので実施した改善活動についてのフォローも含め、ひとつひとつ改善活動を続けていきます。

ナサ工業株式会社　小川 晃生　2回目敢闘賞

テーマ

納入時の運搬時間削減

内容のポイント

今回のテーマを「納入時の運搬時間の削減」に選んだ理由は「自工程で解決出来る内容」「ルーティン業務」「お客様に対する想い」の3点です。「自工程で解決出来る内容」にする事で、他部署を含めず行なえば簡単に改善が出来ると考えました。また、「ルーティン業務」を改善すれば日々の作業の効率化が図れると考えたからです。最後に「お客様に対する想い」として、納入時の時間を削減する事で、お客様の作業の効率も上がり喜ばれると考えたからです。

社内成果

今回の作業改善で作業時間が約62%、年間で約48万円の削減につながりました。パワーアップ研修で学んだことを生かし、新たに「梱包時間の削減」に取り組んでいます。梱包材を通い袋化し再利用することで梱包資材の削減また時間の短縮に取り組んでいます。
最終目標は他部署との連携を図り「ものを探さない現場！！」を作ります。

2017年　賀詞交歓会

1月27日(金)JR鹿児島本線で前日の事故、朝の信号トラブル、午後の停電と相次ぐダイヤの乱れで大変な中ではありましたが、会員企業47社79名の出席により2017年賀詞交歓会が、WITH THE STYLE FUKUOKAにて行われました。

田名部会長より1月21日に行われた全国シートメタル工業会正副会長会の報告と「今年は酉年、羽ばたく年にしましょう」というご挨拶をいただきました。

続いて来賓の㈱アマダ　ブランク事業部副本部長　三橋様よりご祝辞をいただき、総務部　鶴元様の「九州シートメタル工業会の歴史も長くなってきました。20年目を迎える記念の年、元気に、より親睦を深めていきましょう」のご発声により乾杯の音頭が取られました。

新会員の㈱オンガエンジニアリング様から自己紹介をいただき、祝電披露もありました。

皆さんテーブルを離れてたくさんの方とお話をし、話は尽きなかったのですが、安岡副会長の一本締めにて中締めとなりました。

過去最多の人数で盛会に終えましたことをご報告いたします。ありがとうございました。

〈植木 剛彦　株式会社ナダヨシ〉

田名部会長の挨拶

安岡副会長の挨拶

和やかな歓談の様子

モノづくりフェア 2016

展示会名：モノづくりフェア２０１６
開 催 日：10 月 26 日（水）～ 28 日（金）３日間
開催時間：10 時～ 17 時 (最終日は 16 時まで)
開催場所：マリンメッセ福岡
展示内容：優秀板金技能フェア入賞作品
① 経済産業大臣賞　スケルトンエスカレーター　ナサ工業㈱
② 造形品の部銀賞　ステンレス胡蝶蘭　㈱ナダヨシ
③ 組立品の部銀賞　エレキギター㈱田名部製作所

内　　容：

九州シートメタル工業会において平成 26 年度より事業計画の新規取り組みに一つとして、公共展への出展を継続してきました。

平成 28 年度は、工業会のアピール及び新規会員誘客を目的として、マリンメッセ福岡において開催されました日刊工業新聞主催の『モノづくりフェア２０１６』への出展をおこないました。

フェアには毎日、4000 人の方が訪れ、九州シートメタル工業会のブースも盛況でした。

ブース出展風景

ブース訪問風景

ブースを訪れた方の声：

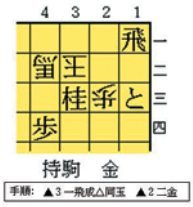
・ステンレス胡蝶蘭を見て、ステンレスでこんなものも作れるのかと驚いた。
・スケルトンエスカレーターの作品を見て、エスカレーターが実際どのように回転して動いているのかがよくわかった。
・優秀板金技能フェアというものが開催されているということがわかった。

〈安部 克哉　事務局〉

★マイブーム★

読む将棋

私の毎朝の日課は出社して日本経済新聞を読むところから始まるのですが、まず一面をすらすら～っと眺めて一目散に次に読むのが「私の履歴書」というコーナーで、これが面白いんです！時代を代表する著名人が半生を語る記事で、１か月にわたるコラムです。それぞれの分野で活躍した人々が、自らの言葉で語る努力や思い、秘話などがあり、自分では考えられないような発見や気づきがありとても勉強になっています。



今回の「マイブーム」はそれじゃなく、その次に読む将棋のコーナーです。日経新聞に限らずいろいろな紙面で掲載されていると思うのですが、これも日を追うごとに指し手が進行していき、５日くらいで１局が終わります。幼いころ父や友人と将棋を指していたくらいで特別勉強したわけではなく、初めはあまり興味もありませんでしたが、いつからかこのコーナーが楽しみになりました。それは、王座戦や竜王戦に出てくる誰もが知っている羽生王座や渡辺竜王の指し手を解説付きでわかりやすく書いてあることが起因しているのかもしれません。棋士のプライドを懸けた勝負は必見で、小さな将棋盤の中に大きな宇宙を感じ、一局が壮大な物語のようです。

将棋界では 2012 年から電王戦なるものも登場しています。大会で優勝したプロ棋士と、大会で優勝した将棋ソフトとの勝負です。将棋ソフトは近年急激に研究が進み強くなっていて、実際にプロ棋士との勝負でも勝っています。過去の膨大な対局のデータを学習した上で、毎日 24 時間自分同士で対戦し、人間が気付きにくい手を指せるようになっています。昨年は棋士によるソフトの不正利用の疑いがあるという問題もおきました。将棋ソフトが棋士の能力を上回っている、という認識をトップレベルの棋士が抱いていることがわかる事件でした。しかし将棋ソフトは棋士にとって悪い影響ばかりではありません。今は多くの棋士にとって何らかの形で研究に将棋ソフトを取り入れている方が多いようです。将棋には勝ち負け以外にも見る楽しみがあります。心理的駆け引きや後世に残る美しい棋譜、そして何よりも将棋を通じて伝わる棋士の個性があります。麻雀やギャンブルをやる方ならわかりやすいと思いますが、勝負事に関して性格が出るように感じます。

楽しみな話題もあります。昨年は史上５人目の中学生のプロ棋士が最年少記録を 62 年ぶりに塗り替えて藤井聡太棋士が誕生しました。前の記録は加藤一二三九段で現在は史上最年長現役の 77 歳だそうです。藤井棋士のプロ初戦はその加藤棋士という面白い対決になりました。祖父と孫くらい年が離れていますが、同じ土俵で勝負できる面白さは将棋ならではのことだと思います。藤井棋士は大山、中原、羽生名人のような偉大な名人になる可能性を秘めています。今後の将棋界を盛り上げてくれることを期待しています。

新聞は読むけど将棋のコーナーなんて興味ないと思っていた方もいらっしゃるとは思いますが、この機会にプロ棋士の熱い戦いに触れてみてはいかがでしょうか？

〈野口 武志　㈲真和ステンレス工業〉

TOPICS

BCP(Business Continuity Plan) 事業継続計画

熊本城地震前

皆さんもご存知の通り昨年４月14日と４月16日に熊本地方で震度７を観測する２度の地震が発生しました。当時の恐怖感というものは言葉では言い表せない程のものでした。当時私は自宅に居ましたが２回目の本震の時は本当に家が潰れるのではないかと思うくらい下から突き上げられガタガタと大きく揺れる感覚は今こうして思い出すだけでも身震いするほど恐ろしいものでした。高層マンションに住んでいる知人の話では左右に５～6m位揺れ、ピアノが、壁から壁へ左右に何度も往復したと聞きました。そして熊本城の石垣や阿蘇大橋の崩落は熊本県民にとって本当に信じ難くまた受け入れることが困難な状態でした。もう少しで１年になろうとしますが建物の解体や建替え、道路の復旧は少しずつ進んではいますが未だ手つかずのところもあり復旧復興へはまだまだ長い月日がかかりそうです。

熊本城地震後

さてこの様な経験を踏まえ既に策定済みの企業さまもいらっしゃると思いますが今回事業継続計画（BCP）について紹介したいと思います。BCPとは地震、台風、集中豪雨など自然災害の多い日本国に於いて、災害を受けた中小企業の事業の中断はそのまま廃業や倒産の事態となるリスクが高いことを危惧し2006年に中小企業庁がそのガイドラインを策定したものです。特に難しいことをするのではなく万が一災害に会った際に事前準備をしておけば被害を最小に抑え復旧に迅速に対処できるようにするというものです。BCP策定の主な目的は取引先への供給責任や従業員またはその家族の安全と雇用の確保、そして地域社会の復旧への貢献などがあげられます。簡単に言いますとその基本方針の基、自社の中核事業は何か?その設備は何か?代替設備はあるのか?など災害が発生した際、何を優先して復興させるかをヒト・モノ・カネの観点から準備するというものです。今回の熊本地震で弊社は建物や設備にそれ程の被害はありませんでしたが、取引先の中には建屋が崩壊したり、工場内に亀裂や段差ができたり、設備が横転したりなど甚大な被害が出ているところもありました。たまたま弊社は今回の地震の前からBCPの策定の準備に取り掛かっていましたがこれを機にさらにブラッシュアップする必要があると痛切に感じました。

そして私からの提案ですが甚大な自然災害が発生して復旧に数カ月もかかる事態が発生した際は九州シートメタル工業会会員企業様の間で復旧までの間仕事をメンバーでサポートするといった内容の書面を取り交わせたら保険の一つとしてとても有効ではないかと思い発案させて頂きました。地震では近隣の親しい同業者も同様の被害を受ける可能性があります。九州シートメタル工業会は九州一円に会員さまがいらっしゃるので万一の時は非常に有効な保険となるとと思います。一度議題として取り上げて頂けないでしょうか?

BCPイメージ図

〈島津 竜太朗　㈱シマヅテック〉

TOPICSコーナーは、編集委員以外の多くの会員様の意見や写真を掲載していきたいと思います。掲載ご希望の方は、事務局まで！

九州シートメタル工業会
【ロゴマークのアイデア】の公募のご案内

九州シートメタル工業会　企画推進委員会　ロゴ応募担当　稲冨　隆大

謹啓、早春の候、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、本工業会発展の為、格別なるご指導、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本日のご案内は、本工業会が発足 20 周年を迎える事を記念し、その記念事業の一環として、新たに工業会のシンボルとなるロゴマークを広く会員の皆様から公募致したくご案内申し上げます。

このロゴマークは、今後の工業会の活動で活用してまいります。つきましては、ロゴマークのデザインのアイデアを下記の応募要項に従ってご応募下さいます様、切にお願い申し上げます。　敬　白

・応募方法：書式は PDF、イラストレーター等、特に指定はございませんので、デザインのアイデアの理由も添えて、事務局までメール又はファックスにてお送り下さい。
（メール送付先：ｔ-ａｒａｋｉ@ａｍａｄａ．ｃｏ．ｊｐ）
（ＦＡＸ送付先：０９２－５８０－８５７７）

・応募資格：会員企業に所属する方

・応募期間：８月３１日まで

・結果発表：役員・理事による選考の上、発表致します。

・採用作品の取扱いについて：
採用者は採用作品の一部修正・翻案を主催者に認めることとし、採用作品の著作権（著作権法第 27 条および第 28 条に規定する権利を含む）は九州シートメタル工業会に移転します。

尚、残念ながら参加賞はございませんが、採用者には金一封を用意しておりますので、奮ってご応募下さい。

《お問い合わせ先》九州シートメタル工業会　事務局
㈱アマダ九州支店　安部・荒木
TEL 092-580-8570　FAX 092-580-8577

編 集 後 記

毎年１月７日（今年は１月８日でした）に、私が住む地域では鬼火焚きが行われます。

青竹のやぐらを組みあげ、正月の飾り物や門松などを持ち寄って燃やします。鬼や悪魔を追い払い家族の無病息災を願う行事です。

燃え出すと、パーン！パーン！と竹が弾ける音と共に『おんのほねー！』と叫びます。

『おんのほね』とは、鬼の骨？！「鬼の骨まで燃やしつくして災いを取り除く」との言い伝えがあり、パーン！パーン！と弾ける音に合わせて『おんのほねー！おんのほねー！』と叫び、災いを追い払うのです。

また、焼けた竹炭で餅を焼いたり、ぜんざいを作ったり、竹で作った筒にお酒を入れて熱燗にし、祝い酒を振る舞うなど、子供から大人までみんなで協力し、この地域の伝統ある鬼火焚きを大切にしています。

鬼火を囲み、ほんのりと頬を赤く染めながら、今年も素晴らしい一年となりますようにと願うのです。

〈中村 充徳　有限会社中村製作所〉

今回の表紙　白秋祭水上パレード

毎年、北原白秋先生の遺徳を偲び、命日の 11 月 2 日を挟む 3 日間水上パレードが開催されております。近隣の小学校生徒による歓迎や様々な文化・芸能行事と共に普段、明るい中を楽しむ川下りと違い、夜は幻想的で神秘的な川下りを堪能し、終焉を飾る花火が盛大に？打ち上げられるのを見て楽しんではいかがでしょうか。

写真　平成 28 年 11 月 1 ～ 3 日

〈北條 裕人　ウメザキシートメタル㈱〉

シートメタル 九州　第 47 号
（九州シートメタル工業会会報）

発行日　平成 29 年 2 月 25 日
発　行　九州シートメタル工業会
事務局　株式会社アマダ 九州支店
〒 816-0912　福岡県大野城市御笠川 1-9-4
TEL 092-580-8570

九州シートメタル工業会　ホームページ　http://www/kyushu-sma.gr.jp
ホームページアドレス・メールアドレスを変更された会員の方は、事務局までご連絡下さい。